

歴史的まちなみの伝統的木造建造物をさまざまな災害から護りぬく
KARTH シリーズセミナー 第6回
2018年6月9日(土) 13時～17時頃(開場12時15分)

歴史都市・大阪と京都から学ぶ 町家の保全・活用

関西木造住文化研究会(略称 KARTH)は、これまで京町家をモデルに伝統木造住宅の伝統文化を活かした防災性能の向上や再評価を目指して様々な活動を続けてきました。本セミナーでは、歴史的まちなみの伝統的木造建造物を、伝統文化を活かした手法で様々な災害から護り、被害を軽減するための課題と対策をさまざまな視点から学び、考えます。

今回は、関西の歴史都市・大阪と京都における町家の歴史と保全・活用の取り組み事例を学ぶことにより、各地の地域特性、資源、文化を活かした安心して暮らし続けられる住まい・まちづくりに役立てていただきたいと思います。お気軽にご参加下さい。

■プログラム

★12時30分 会場の防火・耐震改修町家(江戸後期、築約170年)の建物公開見学(参加自由)
建物解説 KARTH 防火・耐震研究チーム

★セミナー 13時～17時頃(終了後懇親会) 司会 吉田正友(大阪工業大学特任教授)
第1部「京都の木造伝統文化、歴史的まちなみの保全と防災の両立手法を考える」(1時間程度)
KARTH 防火・耐震研究チーム 田村佳英、武田真理子

京都は第2次世界大戦の戦火から木造密集家屋を護るために防火改修した町家が都心に400棟余り(2010年調査時点)現存する日本でも稀有な都市である。昭和期には消防局による市内全域の住宅の防火診断や防火貯蓄運動が推進された。これらの先人の取り組み、及び地域の方々のご協力による50棟余りの町家の構造・防火調査、防火・耐震実験・研究等から把握できた既存京町家の防火・耐震特性と木と土壁文化を活かして京町家の防火・耐震性を高めるための要点を概説する。

第2部「大阪の町家と長屋について」(1時間半程度)

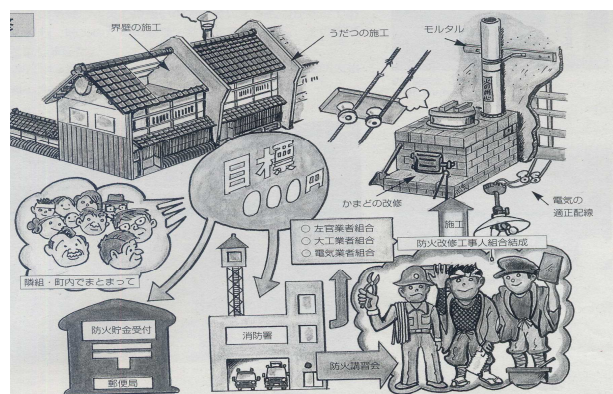
谷 直樹(大阪くらしの今昔館(大阪市立住まいのミュージアム)館長、大阪市立大学名誉教授)

町家の形と暮らしは、京町家において語られることが多いが、大阪には京町家とは異なる町家や長屋が存在する。大阪には、時代のシンボリックな文化財建造物だけではなく、庶民住宅の長屋街区が残されており、さらに、現代の最新技術を駆使して長寿命化を実現するプロジェクトが始まっている。大阪の町家の歴史を振り返りながら、現存する町家と長屋について、その歴史と現状、保存・再生・活用について語って頂く。

意見交換(1時間程度)



大阪 豊崎長屋の再生プロジェクト



京都の先人の取り組み 消防局による防火貯蓄運動
中京消防50年のあゆみ刊行委員会、「中京消防50年のあゆみ」より

★講師 谷 直樹 氏のプロフィール

大阪くらしの今昔館（大阪市立住まいのミュージアム）館長。大阪市立大学名誉教授。京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。工学博士。専門は、建築史・居住文化史・博物館学。大阪くらしの今昔館の先駆的な企画・運営で日本建築学会賞及び同教育賞、大阪市北区豊崎における長屋スポットの保全・再生プロジェクトで同教育賞、同著作賞、グッドデザイン・サステナブルデザイン賞などを受賞。著書に『まちに住まうー大阪都市住宅史』（共著）、『まちに住まう知恵ー上方三都のライフスタイル』、『いきている長屋 大阪市大モデルの構築』（編著）など



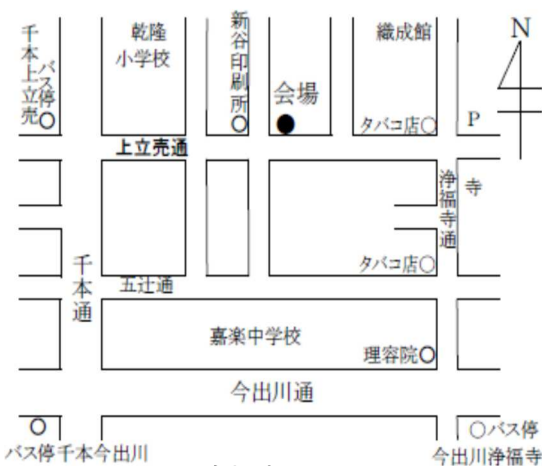
- **会 場**：西陣 薬ノ家(京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ケ東西町 632 番地、角地、東隣駐車場)
*薬(ヒコバエ)とは、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽を意味します。
- **参加費**：1000 円 (資料付、会員 800 円、学生無料)、セミナー終了後の懇親会 1000 円 (学生無料)
- **参加方法**：お名前、所属、電話・FAX 番号、メールアドレス及び懇親会の参加の有無を明記の上、
6 月 1 日(金)までに FAX またはメールまたは電話でお申込み下さい。
申込時点で参加受理とさせていただきます、ご返事は省略させていただきます。
- **参加申込・問合せ先**：NPO 法人 関西木造住文化研究会 (略称 KARTH：カース)
TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725、E-mail info@karth.sakura.ne.jp
<http://karth.org/> 京都市上京区上立売通浄福寺西入姥ケ東西町 632 番地

●会場の交通アクセス

- ・バス停「今出川浄福寺」又は「千本今出川」又は「千本上立売」より徒歩約 5 分
- ・JR 京都駅より(所要時間 約 40 分、角地)
 - ①地下鉄烏丸線「烏丸今出川」駅下車、3 番出口、烏丸今出川交差点の今出川通東側バス停から西行きバス乗車、「今出川浄福寺」下車
 - ②市バス利用:A3 の 206 番に乗車、バス停「千本上立売」下車、または B2 の 50 番、101 番乗車、バス停「千本今出川」下車



会場



会場案内図

- ヒコバエ
西陣 薬ノ家 (下記所属は当時の内容、WM:ワーキングメンバー)
- ・改修設計:KARTH(担当 悠計画研究所(田村佳英、武田真理子)&木下孝一(数寄屋研究所心傳庵 大工棟梁)、WM23 名
 - ・改修施工:数寄屋研究所心傳庵
 - ・改修前後の振動実験:統括指導 鈴木 有 (秋田県立大学木材高度加工研究所 教授)、WM23 名
 - ・土壁耐震実験:統括指導 鈴木 有(前掲)、実験 村上雅英(近畿大学 助教授)&村上研究室、WM22 名
 - ・土壁防火実験:統括指導 長谷見雄二(早稲田大学 教授)、実験協力 日本建築総合試験所、WM18 名
 - ・「京都西陣の町家再生～西陣薬(ヒコバエ)ノ家～とその構造・防火温熱環境性能の検証」活動は、NPO 木の建築フォーラム主催・2003 年度第1回「木の建築賞大賞」を、研究者の方々と共同受賞。
 - ・京都市市街地景観条例歴史的意匠建造物。防災協力井戸あり。

これまで開催したシリーズセミナー (会場：西陣 薬ノ家)

- 第1回 「樹木災害と文化財防災」、小玉泰義(岡山県農林水産総合センター森林研究所木材加工研究室)、2016.3/6
- 第2回 「火災の実態と建築物の防耐火に関する基本」、吉田正友(大阪工業大学特任教授)、2016.4/24
- 第3回 「伝統木造建築技術を基盤とする防災文化の再構築」、渡辺一正(NPO 市民文化財ネットワーク鳥取 理事長)、2016.7/23
- 第4回 「地震の強震動から建物被害を抑えるために」、2017.2/5
 - 第1部 「見落とされてきた破壊的な鉛直地震動の現象について」、前原 博((一財)地球システム総合研究所)
 - 第2部 勉強会「伝統木造柱梁構法の災害特性-粘り強さに籠められた仕掛け-を考える」、渡辺一正(前掲)
- 第5回 「大工棟梁から学ぶ一大地震でも倒壊を防ぐ木造伝統構法の智慧」、2017.7/23
 - 第1部「伝統木造建造物を様々な災害から護るーKARTH 研究成果の紹介 耐震対策その1」、田村佳英(KARTH 耐震研究チーム、悠計画研究所)
 - 第2部 講義・意見交換「大工棟梁から学ぶ一大地震でも倒壊を防ぐ木造伝統構法の智慧」、江戸 保 (大工)